

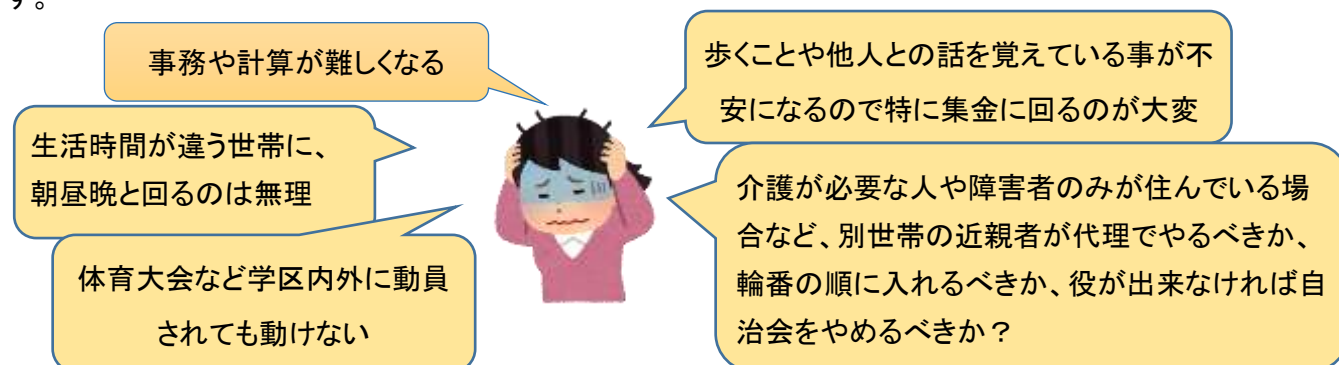
自治会・町内会の役員交代、みなさん、どうしていますか？

組長と他の役割分担について相談が増えています。



多世代で生活している世帯は少ない（駿河区の世帯当たり人員は2.3人です）

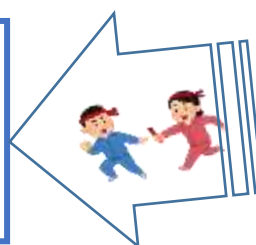
一軒の家で世代交代が出来ないので、高齢になってから地域の役が回ってきても、やることも断ることもできず悩む人が多くなっています。輪番制は公平性があり賛成する人が多いですが、一方で事情があっても断れないとの声があります。実際、高齢になれば誰でも起こることですが、切実な相談が寄せられます。



このような問題に解決策はあるのでしょうか？

それぞれの家庭や地域の状況は変化していきますから、決定的な解決策はありません。

自治会の目的は地域の交流と支え合いです。住んでいる人の年代や家族構成を把握し、活動を見直してこれからも続けられるものに変えましょう。



現在の自治会は、高度経済成長の時代につくられた組織や役割分担、行事ですから現代にあっていないのです。

事例1 私の自治会では、会費や募金の集金を組長が回るのではなく、組長に届けるようにしました。年間でわかっている募金もまとめて集めています。少し負担が減りました。

事例2 組長の仕事を組全体の役割と考えて、内容を分担しています。輪番をこなせば、お互いに肩の荷が下ります。助け合うことで、お互いの様子もわかり見守り合うことが出来ました。

事例3 こんな相談が増えています。

近くに息子娘がいる場合、戻って自治会のことをしてほしいとご近所に言われますが、息子夫婦も共働きで自分の自治会の付き合いもあります。どうしたらいいのでしょうか？こんなことなら自治会をやめたいです。

皆さん、他人ごとでないのです。自分だったら「こんな時には戻ってきてほしい」と思っているためにそのように言われるのかと思います。実際には、もう独立しているものですから、たまのことならお願いしますが、同居でない場合はそこに住む人で考えた方が良いでしょう。

自治会として、「〇〇才以上は、申し出により役員を免除することが出来る」など、決まりを設けることも一つの方法です。